

会 告

日本鉄鋼協会第51回通常総会開催御通知



会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 湯 川 正 夫

本会第51回通常総会を下記の通り開催いたしますので、何卒ご出席下されたくご案内申し上げます。  
 なお総会にご出席なさるぬ会員各位には、別添委任状に記名捺印の上ご送付下さるか、またはご意見を4月4日(月)までに本会宛お申し出下さい。これらの手続をとられない場合は総会の決議事項にご異議なきものとして、取扱いをさせていただきますからご了承下さい。

記

- 日 時 昭和41年4月5日(火) 13:00 より  
 会 場 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部8号館教授会室  
 議 案 (1) 昭和40年度事業報告、収支決算ならびに財産目録の件  
 (2) 昭和41年度事業計画ならびに収支予算の件  
 (3) 定款中一部変更の件(別記参照)  
 (4) 理事、監事ならびに評議員選挙の件  
 表彰式 (会告N19 ページ参照)

定 款 変 更 案

1. 第2条(事務所に関する規定)中「東京都千代田区丸の内1丁目1番地」とあるを「東京都千代田区大手町1丁目5番地」に変える。
2. 第11条(正会員会費に関する規定)中「年会費 2,000円」とあるを「年会費 2,400円」に変える。
3. 第12条(学生会員会費に関する規定)中「年会費 1,200円」とあるを「年会費 1,500円」に変える。
4. 付則に次の2項を加える。

第2条の変更定款は、昭和41年11月1日から適用する。  
 第11条、第12条の変更定款は、昭和42年1月1日から適用する。

提 案 理 由

事業の拡充強化に伴い、事務所の移転を必要とするに至つたので、事務所の所在地を変更せんとするものである。次に、最近会誌の印刷費、用紙代を初め、その他諸物価が一般に騰貴しており、また事業の推進に伴う諸経費も著しく増大している。これがためには今後一層経費の節約に努めることは勿論であるが、この際最少限度の会費値上げ(維持会費の会費値上げはこの際見合わせる)の要請は己むを得ないことと信じ、ここに定款を変更して正会員および学生会員の会費の値上げを行なわんとするものである。

## 理事、監事ならびに評議員選挙について

第51回通常総会（昭和41年度）において選挙せられるべき理事、監事ならびに評議員候補者は、定款施行細則第6条により評議員会において別記投票用紙（会告 N17 ページ）に記載の通り推薦せられました。ついでには名誉会員、賛助会員、維持会員および正会員各位は右候補者につき下記要領によりご投票下さるようお願いいたします。

### 投票要領

- (1) 投票用紙には、ご異議のある方に×印をつけ、その代りにご推薦下さる方の氏名を記入して下さい。
- (2) 投票用紙は本会所定のものをご使用下さい。
- (3) 当日総会にご出席にならぬ方は綴込みの委任状に記名捺印のうえ協会宛ご送付下さい。
- (4) 投票、委任状の送付がありません場合には原案にご賛成のことと拝承させていただきます。

## 鉄鋼基礎共同研究会参加者募集

（日本鉄鋼協会、日本金属学会共同）  
（日本学術振興会第19委員会）

題記研究会では鉄鋼への微量元素の影響としてNbをとり上げることとし、参加者を募ることとした。どの点を研究対象にするかは各自参加者の自由である。（内容例を下記に示す）

参加希望者は下記要領によりお申込み下さい。

- 申込方法** 适当用紙により氏名、所属職名、連絡先ならびに行なわんとする研究テーマを記入の上、下記宛申込まれたい。
- 申込締切** 昭和41年4月15日
- 申込先** 仙台市片平丁 東北大学金属材料研究所 今井勇之進宛
- 参加条件**
- (1) 毎年必ず報告を出す（未完のものも含む）
  - (2) 報告会への旅費の支出は見込みない（ただし、発表はなるべく学協会の春秋大会の折に併せて行なう）
  - (3) 官公立研究所の報告書の作成費用については考慮する。

### Nbに関する研究対象内容例

1. 金属学的基础データ
  - (1) Nbの各種化合物に関する金相学のおよび熱力学的データ
  - (2) Nbの各種化合物のオーステナイトおよびフェライトへの溶解度の検討ならびに随伴元素の影響
2. 鋼材の諸性質におよぼす影響
  - (1) Nbの存在形態による強化寄与の検討  
固溶型、析出物型 (Coherent, incoherent)
  - (2) 結晶粒度微細化の機構
  - (3) 衝撃値、疲労値におよぼす影響
  - (4) 降伏比向上の範囲と起因について
  - (5) 加工性とくに圧延、深絞り性におよぼす影響
  - (6) 焼入時効、歪時効に関する検討
- (7) 各種脆性とくに低温脆性におよぼす影響ならびに熱処理との関係
- (8) 清浄度におよぼす影響
- (9) 溶接性におよぼす影響
- (10) 高温の性質に関する検討
- (11) 耐食性に関する検討
3. 製造因子
  - (1) 製造因子に関する検討（圧延温度、圧延量、冷却速度など）
  - (2) 添加法と歩留り向上についての検討
  - (3) Slag中の形態
  - (4) 偏析とその除去
4. その他

# 日本鉄鋼協会理事, 監事, 評議員

## 投票用紙

(敬称略)

### 理事候補者 (任期2年 15名)

足立 彰	今富 政平	内川 悟	木下 亨	近藤 八三	佐野 幸吉
菅野 五郎	田中 実	田村純治郎	武田 喜三	手島 雄二	中司 正夫
橋口 隆吉	不破 祐	三井 太信			

### 監事候補者 (任期2年 1名)

芝崎 邦夫

### 評議員候補者 (任期2年 123名)

間 端夫	赤坂 武	葦沢 大義	東 道生	網谷 俊平	荒牧 寅雄
井関 剛	井戸崎好次	井上 敏郎	池島 俊雄	石田 四郎	石原 正美
石原 善雄	出淵 国保	茨木 正雄	今井勇之進	今里 広記	入 一二
岩井 英夫	岩武 照彦	磐城 恒隆	越後 正一	小田 仲彬	小田原大造
小野田武夫	大柿 諒	大津孝太郎	大浜 侃	大元 博	太田 鶏一
奥村 虎雄	奥村 福次	香川 英史	香川 進	鍵和田暢男	金森 九郎
金森 祥一	金子 信男	川又 克二	川村 宏矣	河合 良一	木寺 淳
木下 正	北川 一栄	北原 光雄	喜代永政雄	久米 定男	黒田 康彦
桑田 賢二	河野 文彦	小島 長作	小林佐三郎	小林清一郎	駒井健一郎
近藤 良夫	五弓 勇雄	西郷 吉郎	作井 誠太	佐藤 知雄	三本木貢治
鹿喰 清一	志村清次郎	菅野 猛	杉 正道	芹沢 正雄	荘 清彦
園田 一夫	平 修二	高尾善一郎	高橋麟太郎	田地川健一	田中 国雄
武田 修三	谷口 光平	谷村 瀨	俵 隆治	辻畑 敬治	土屋 勤
豊田 茂	中川不器男	中島 省一	中島 正樹	中野 宏	中村 隆一
中山 育雄	西村吉太郎	萩原 巖	橋浦 彦三	橋本 宇一	早川 種三
原田 静夫	原田 惠伍	馬場幸一郎	久田 清明	檜山 広	日向 方斉
藤川 一秋	藤木 俊三	藤田 茂	堀田 之孝	堀田 秀次	松田 公扶
松永陽之助	松原与三松	松本 茂樹	三島 良績	三谷 裕康	嶺 次男
宮下 俊二	宮代 彰	三宅 卓	村上 英二	森 一美	森 晁
森永 孝三	森棟 隆弘	八木貞之助	安田 汪	柳 武	山本 博
養田 実	吉井 周雄	和田 亀吉			

切

取

線

## 服部賞, 香村賞, 俵論文賞, 渡辺三郎賞 渡辺義介賞, 渡辺義介記念賞 受賞者

本会におきましては、表彰規程により表彰選考委員会を設け、昭和41年度各賞受賞者の選考を慎重に行ないました結果、下記のごとく決定いたしましたのでお知らせいたします。

なお表彰式は、4月5日(火)開催の第51回通常総会の議事終了後に行なわれます。

服 部 賞	八幡製鉄(株)取締役	辻 畑 敬 治 君
香 村 賞	日本鋼管(株)取締役 川崎製鉄所長	筒 井 統一郎 君
俵 論 文 賞	東京大学工学部 大学院学生 (現マックマスター大学)	佐 野 信 雄 君
	東京大学工学部 文部技官	塩 見 純 雄 君
	東京大学教授(工学部)	松 下 幸 雄 君
渡 辺 三 郎 賞	日立金属工業(株)取締役 安来工場長	檜 垣 達 君
渡 辺 義 介 賞	早稲田大学名誉教授 国士館大学教授	塩 沢 正 一 君
渡 辺 義 介 記 念 賞	東海製鉄(株)常務取締役	大 柿 諒 君
	東北大学教授(選鉱製錬研究所)	大 谷 正 康 君
	八幡製鉄(株)東京研究所 分析化学研究室長	神 森 大 彦 君
	富士製鉄(株)室蘭製鉄所製鉄部長	楠 野 桂 三 君
	八幡製鉄(株)八幡製鉄所生産管理部長	駒 田 日洲雄 君
	東京工業大学教授	田 中 良 平 君
	大同製鋼(株)中央研究所試作部次長	滝 波 歆 一 君
	(株)日本製鋼所室蘭製作所 製鋼部鑄鉄課長	俵 秀 夫 君
	川崎製鉄(株)千葉製鉄所工場長付	中 村 春 三 君
	日本特殊鋼(株)研究部次長	西 義 澈 君
	久保田鉄工(株)鑄型ロール研究部次長	本 田 順太郎 君
	久保田鉄工(株)鑄型ロール研究部 鑄型ロール研究課長	福 田 昌 弘 君
	日本鋼管(株)技術研究所副所長	堀 川 一 男 君
	北海道大学教授(工学部)	松 原 嘉 市 君
	住友金属工業(株)和歌山製鉄所 製管部長	三 瀬 真 作 君
	工業技術院標準部工業標準専門職	水 野 幸四郎 君

## 講演時間変更のお知らせ

春秋の講演大会における講演時間は従来、質疑を含め25分で行なつてまいりましたが、討論会の実施ならびに最近における講演数の増加により、日程上現状を維持することが難かしくなつてきました。そこで今春の第71回講演大会では、下記の通り講演時間を変更することになりましたので、お知らせいたします。

講演者をはじめ各位のご協力をお願いいたします。

記

1 講演につき 講演—15分 質疑—5分

## 講演プログラム変更のお知らせ

第71回講演大会講演プログラムは「鉄と鋼」2月号にてご案内いたしましたが、プログラム中一部変更がありましたのでお知らせいたします。

変更プログラムは3月号、4月号講演論文集に掲載いたしてありますが、下記の変更表をご覧のうえ、お間違いなくご聴講下さいませようお願いいたします。

2月号掲載プログラム			変更プログラム(3月号, 4月号掲載)		
会場名	講演時間	講演番号	会場名	講演時間	講演番号
3	13:00	66	3	<b>11:45</b>	66
5	9:20	102	<b>3</b>	<b>13:00</b>	<b>67</b>
3-4		67-100	3-4	講演時間変更なし	<b>68-101</b>
5	9:00	101	5	<b>9:20</b>	(1番ずつ繰下げ) <b>102</b>

## 表彰記念特別講演会開催のお知らせ

— 4月5日(火) 14:30~17:00 —

4月5日、第51回通常総会後の表彰式にて、服部賞、香村賞、俵論文賞、渡辺(三郎)賞、渡辺(義介)賞を受賞される方々の表彰記念特別講演会を、表彰式終了後引続いて東京大学工学部8号館教授会室において開催いたしますので、会員多数お誘い合わせのうえご来聴下さい。

記

14:30	演題未定	渡辺(義介)賞受賞者	塩 沢 正 一
15:50	演題未定	服部賞受賞者	辻 畑 敬 治
15:30	演題未定	香村賞受賞者	筒 井 統一郎
16:00	鋼中酸素の挙動と脱酸の原理	俵論文賞受賞者	松 下 幸 雄
16:30	演題未定	渡辺(三郎)賞受賞者	檜 垣 達

## 特別講演会開催のお知らせ

— 4月6日(水) 9:00~12:00 —

本会では昭和39年に通産省より鉄鋼の生産設備能力調査の基礎となる「能力算定基準」を、最近における技術の進歩に対応したものに改訂または新規作成するよう依頼をうけ、本会内に鉄鋼生産設備能力調査委員会を設置、製鉄、製鋼、圧延各設備について各方面の協力を得て「能力算定基準」を作成いたしました。

また、国内一般炭を活用して、製鉄用コークスを製造し、原料炭輸入の防止を図る目的で昭和39年から政府の委託をうけ、本会内に「国内炭活用製鉄用コークス製造試験委員会」を設け、総額1億9000万円におよぶ、コークス製造の試験研究を続けてまいりましたがこのほど試験が完了、試験結果が提出されました。

本会では第71回講演大会を機会にこれら2件の調査ならびに試験結果を下記のごとく特別講演会として会員各位にご報告いたすことになりました。多数会員がご来聴下さるようご案内申し上げます。

日 時 4月6日(水) 9:00~12:00

場 所 東京大学工学部 8号館教授会室

### 鉄鋼生産設備能力調査委員会報告講演

9:00 挨拶

委員長 沢村 宏

9:10 製鉄生産設備能力算定法式について

製鉄設備副会長 林 敏

製鋼生産設備能力算定法式について

製鋼設備部長 佐野 幸吉

### 国内炭活用、製鉄用コークス製造試験委員会報告講演

10:30 挨拶

委員長 久田 清明

10:40 国内炭活用製鉄用コークス製造試験について

試験実施委員長 白石 芳雄

記録映画

## 討論会開催のお知らせ

— 4月6日(水) 13:00~17:00 —

第71回講演大会の際に行なわれる討論会につき、討論テーマを事前に発表、会員各位からご投稿いただくために、会誌にてご案内いたしましたところ、多数の討論会論文のご投稿がありました。討論会プログラムは編集委員会において別記(13ページをご参照下さい)のごとく編成されました。ご参加の方々が活発な討論を行なえるよう十分に討論時間をとつてあります。多数会員奮って参加下さるようご案内いたします。

記

日 時 昭和41年4月6日(水) 13:00~17:00

会場および

1) 焼結鉱の還元時(特に低温域)における挙動

8号館83番教室

討論会テーマ

2) 純酸素上吹転炉製鋼法における酸化反応の機構

8号館82番教室

3) 構造用鋼の特性におよぼす微量ニオブ添加の影響(特に強化機構)

2号館大講堂

4) 鋼中非金属介在物と機械的性質

2号館21番教室

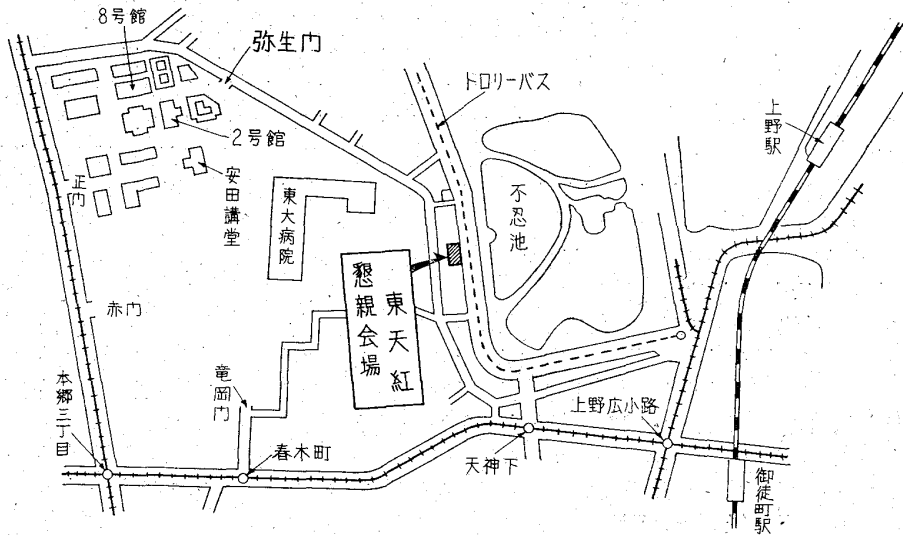
討論講演

討論論文は会誌「鉄と鋼」第3号に討論1), 2)を第4号に、討論3), 4)を掲載いたします。

### 懇親会場および見学会集合場所案内

懇親会会場（4月5日 18:00）および見学会（4月8日）集合場所の略図は下記の通りです。参加者はお間違いなく、定刻までにご集合下さるようお知らせいたします。

懇親会場付近略図（東大より徒歩約15分）

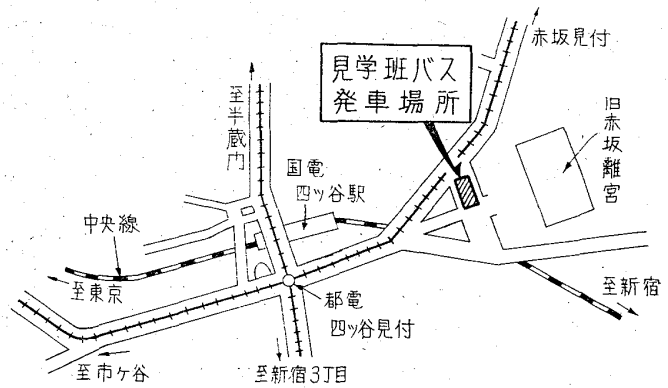
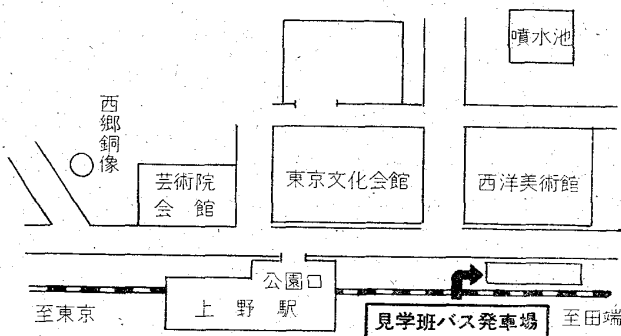


### 見学会集合場所付近略図

第1班の集合場所は水戸駅前です。

第2班～第3班集合場所(上野駅公園口脇)

第4班～第5班集合場所(旧赤坂離宮前)



第6班～第8班集合場所(品川駅海岸口前)

